

令和7年度 学校評価分析

1. 概要

(1) 実施時期 令和7年12月

(2) 回収率

生徒	698名/708名	98.5%	【昨年度 99.4%】
保護者	313名/708名	44.2%	【昨年度 80.4%】
教職員	47名/47名	100%	【昨年度 100%】
地域	26名/26名	100%	【昨年度 100%】

(3) 質問事項

質問事項を精選し、生徒16項目、保護者17項目、教職員16項目とした。そのうち、共通の質問内容を13項目とした。地域は9項目で実施。

各項目に対して、1「そう思う」、2「ややそう思う」、3「あまり思わない」、4「思わない」からの四択に加え、地域の方々へのアンケートには5「わからない」を設けた。

(4) 分析方法

評価得点により分析を行った。

評価得点は、各項目の回答（パーセント表示）をもとに次の計算により算出した。

そう思う = a% ややそう思う = b% あまり思わない = c% 思わない = d%

評価得点 = $(a \times 3) + (b \times 1) + (c \times -1) + (d \times -3)$

計算例)

質問項目	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
花は好きだ	30%	40%	20%	10%

$$\begin{aligned} \text{評価得点} &= (30 \times 3) + (40 \times 1) + (20 \times -1) + (10 \times -3) \\ &= (90) + (40) + (-20) + (-30) \\ &= 80 \end{aligned}$$

評価得点の最大値は300、最小値は-300となる。

評価得点等の数値は図表1「令和7年度 学校評価集計結果」を参照。

2. 評価得点が高い項目

(生徒、保護者、教職員の評価得点の平均が150より大きいもの)

次の7項目の評価得点が高かった。

- ◎先生に質問した時に、丁寧に答えてくれている。
- ◎校則を理解して実行している。
- ◎先生は進路について相談によく応じてくれる。
- ◎学校はいじめ防止・実態把握に対して適切な取り組みをしている。
- ◎学校行事は充実している。
- ◎部活動は活発に行われている。
- ◎私は学校生活に満足している。

この中でも、部活動や学校行事に関する項目はとても高い評価であった。

3. 評価得点が低い項目

(生徒、保護者、教職員の評価得点の平均が100に満たないもの)

次の1項目の評価得点が低かった。

- 施設(教室・特別教室・体育施設等)は整備されている。

4. 昨年度との比較

生徒、保護者、教職員の評価得点の合計を昨年度と比較する。

生徒 +263

保護者 -28

教職員 +262

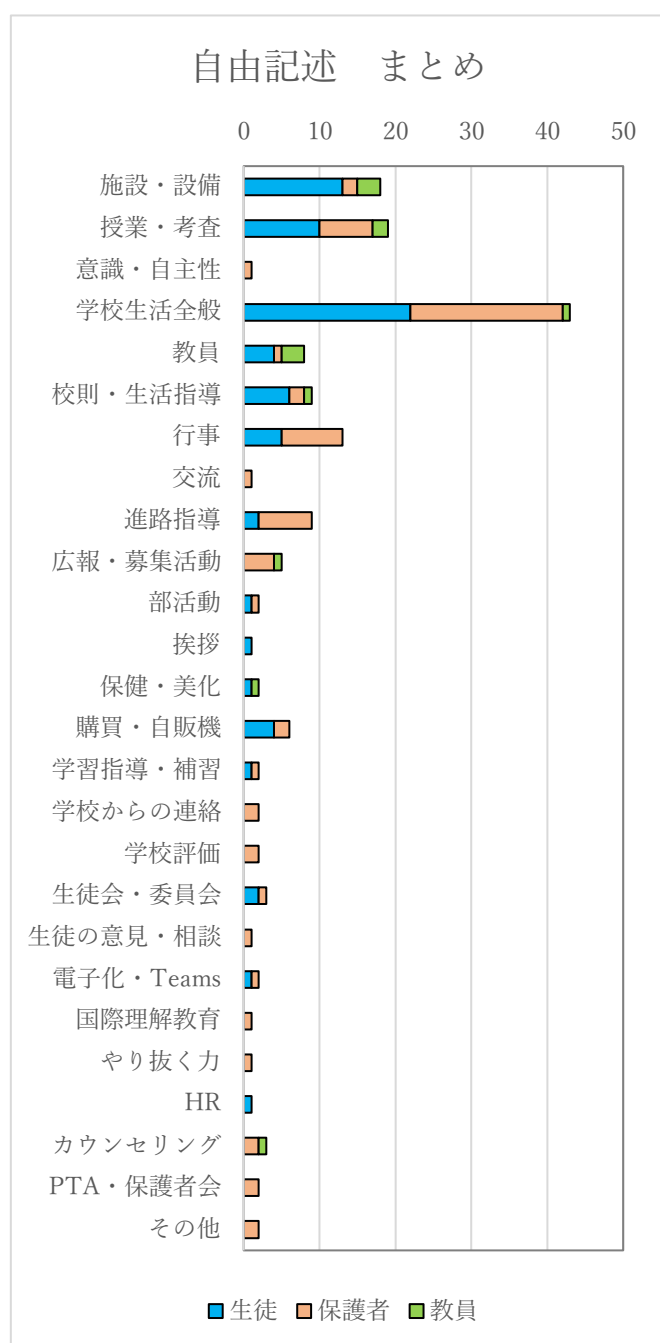
保護者からの評価得点の合計が下がったものの、生徒、教職員共に上がっており、合計は+497となる。よって昨年度よりもよい評価結果が得られている。

5. 自由記述について

「自由意見を記述してください」の質問について、生徒、保護者、教職員から159(昨年度291)の記述回答をいただいた。それらの内容を30のカテゴリーに分類し、回答数の結果を図表2「自由記述まとめ」に示す。なお、具体的な記載については、次ページの「自由記述(抜粋)」を参照。

図表2 「自由記述まとめ」

分類項目	生徒	保護者	教員	合計
施設・設備	13	2	3	18
授業・考査	10	7	2	19
意識・自主性		1		1
学校生活全般	22	20	1	43
教員	4	1	3	8
校則・生活指導	6	2	1	9
行事	5	8		13
交流		1		1
進路指導	2	7		9
広報・募集活動		4	1	5
部活動	1	1		2
挨拶	1			1
保健・美化	1		1	2
購買・自販機	4	2		6
学習指導・補習	1	1		2
学校からの連絡		2		2
学校評価		2		2
生徒会・委員会	2	1		3
生徒の意見・相談		1		1
電子化・Teams	1	1		2
国際理解教育		1		1
やり抜く力		1		1
HR	1			1
カウンセリング		2	1	3
PTA・保護者会		2		2
その他		2		2



上図から、学校生活全般の回答数が圧倒的に多いことがわかる。その内容としては「充実している」、「入学して良かった」、「学校生活に満足している」の回答が全体の96.0%であった。他の項目には厳しい意見もあるが、生徒、保護者ともに概ね学校生活に満足していることがわかる。